

エネルギー研究開発拠点化計画

トップセミナーを開催！！

本年度も強気に推進します！

原子力関連業務従事者研修も随時実施中。

毎年確実にSTEP UP
着実に実力UP

原子力関連業務への県内企業参入に向けて、経営者等に意識を高めてもらうために毎年開催しているもので、5月26日から6月11日にかけて福井、敦賀、高浜の3会場で開催しました。

昨年までの実績として受講生約3850人、本年度約1500人を計画しています。非破壊検査資格取得等、これまでの資格取得者は約220人となっています。

本年度の特徴は、研修の受講者を対象に中部電力(株)浜岡原子力発電所(静岡県御前崎市)の視察研修や、より研修に参加しやすくなるよう開催時期を変更するなど、県内企業のニーズに対応したきめ細やかなカリキュラムとしています。

どの研修も参加は無料です。

どしどし御利用ください。

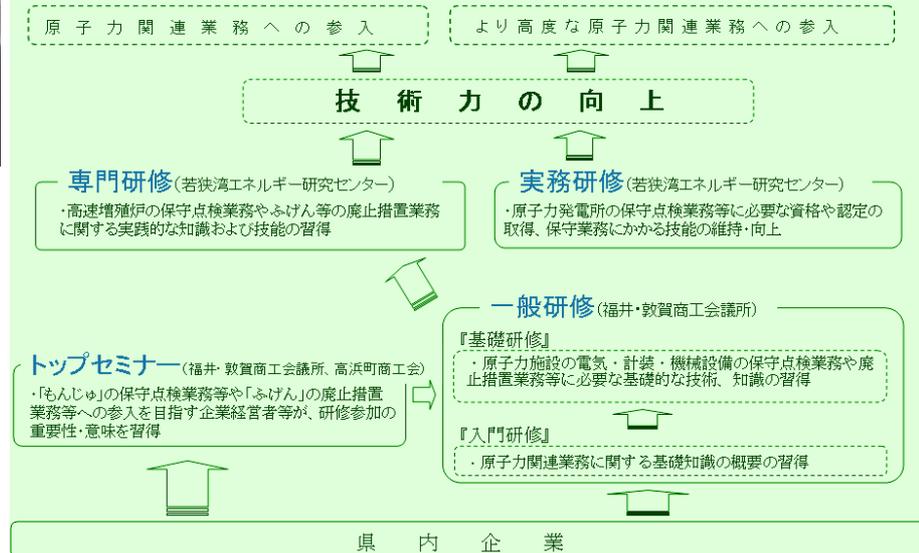
トップセミナー (福井)



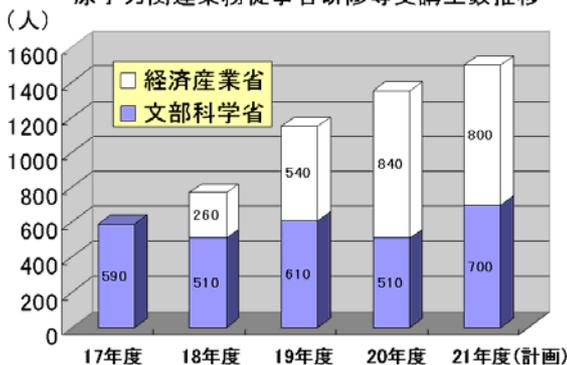
トップセミナー (高浜)



原子力関連業務従事者研修 (全体イメージ図)



原子力関連業務従事者研修等受講生数推移



エネ研の科学機器を紹介します

ガスクロマトグラフ質量分析装置 (GC-MS)

ジーシーマスまたは
ガスマスと呼びます



GC-MS

企業から臭い分析の相談があり、GC-MSを用いて分析を行う長友オペレーター

GC-MSは、ガス状の試料中の物質の質量を正確に測定し、どのような成分からできている試料かを分析する装置です。エネ研の装置は、磁場と電場で各成分の物質を選別する二重収束型で、大変高分解能・高感度です。環境中にある有害物質の測定のほか、においの分析などにも利用できます。エネ研の装置は、企業・大学等の方が低料金で利用でき、研究のほか企業の支援にも活用しています。今回のニュースでは、身近な例としてスイセンとバラの花の匂いの成分を調べた一例を紹介します。



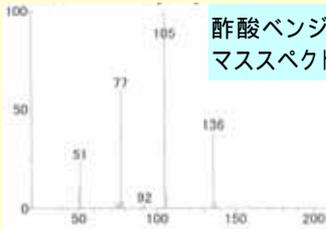
スイセン



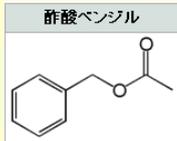
バラ



GC-MSでは下図のようなマススペクトルという結果が得られます。このマススペクトルとデータベースから、物質を推定します。150万点のマススペクトルから物質が推定でき、今回のような測定したデータを蓄積しています。



酢酸ベンジルのマススペクトル



酢酸ベンジルは多くの花で見出され、特にジャスミン、イランイラン等の精油の主成分

	越前スイセン	西洋スイセン(白色)	バラ(濃赤色)
1-ヘキサノール			△
1-ヘキセン			○
3,5-dimethoxy toluol		△	○
α-ピネン		○	
β-ミルセン		◎	△
安息香酸メチル		◎	
オシメン	◎		
グラニオール			◎
酢酸-3-フェニル-2-プロピニル	△		
酢酸-3-フェニルプロピル	○		
酢酸ベンジル	◎	○	
シトロネロール			○
デカメチルシクロペンタシロキサン		○	△
ネロール			○
リナロール	○		

県内小中学校の先生が「太陽炉」の研修に来ました。

6月9日(火)に福井県内の小中学校の先生、理科実習助手の皆様が「教職員研修講座 知ろう！これからのエネルギー研修講座」として、太陽炉に関する研修に来られました。

講座は最初に、当センター新宮研究顧問が、エネルギーの3法則について分かりやすく説明しました。

その後、太陽炉にて精製した鉄を使って、水素生成実習を行いました。参加された先生方は、水素が簡単な方法でできることに驚いていました。



実習担当は、大西協力研究員。皆さん真剣に実習に取り組んでおられました。



講義中の新宮顧問



予 定

FNCA公開シンポジウム

6月22日(月) 福井県国際交流会館
「陽子線がん治療について」山本室長
「農業育種研究」LE Ngoc Trieu
が講演・発表を行います。
みなさん奮ってご参加ください。